旭川市報道依頼

各報道機関　様

発表日	平成３０年　１０月　１１日
発信課	社会教育部　科学館
担当者	向井　正幸
連絡先	電　話　０１６６－３１－３１８６
	ＦＡＸ　０１６６－３１－３３１０
	E-mail　m_mukai@city.asahikawa.lg.jp

分　　類	イベント・行事　募集　契約・入札　会議・説明会　その他 （該当する分類を囲むこと。）
日　　程	９月　２７日　～　１１月　１１日
発表項目 （行事名）	シロザケ生態展示会及び関連事業「サケ遡上見学会」のお知らせ
概　　要 （趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。）	【場　所】: 旭川市科学館（宮前１－３）　特別展示室前 【その他】: 観覧は無料です。 石狩川では，平成 12 年に中流の深川市にある旧花園頭首工に魚道が設置されたことにより，旭川市を含む上流域にサケの遡上が確認されるようになりました。さらに，独立行政法人独立行政法人水産総合研究センターさけますセンターにより，3 年間（平成 21 年～24 年）で計 150 万尾に及ぶ大規模な稚魚放流が実施されました。その結果，平成 23 年以降に放流個体が回帰し，平成 24 年には 3,000 尾以上のサケが遡上，産卵したと推定されています。 旭川市科学館では，サケの遡上に対する市民の関心の高まりを受け，環境教育を目的とした「サケに関するシンポジウム」や「サケの遡上見学ツアー」，「パネル展示」などを開催してきました。その中で，石狩川上流のサケの回復状況について，その実態把握を目的として，現在の本格的な遡上回復前より一連の調査に関わってきました。 今回の展示では，これまでの調査研究の成果と市民の方々に旭川へ遡上してくるサケについて知っていただきたく，サケの生態展示会を開催しております。解説パネルの他，サケを知ってもらう様々なキット類，一昨年，市内の河川で撮影したサケの産卵行動に関する貴重な映像，サケの仲間である，ヤマメ，オショロコマ，ニジマスを飼育しています）をしております。是非，ご覧頂いて，少しでもサケの生態を知っていただければ幸いです。
添付資料	㊒　・　無 （有・無のいずれかを囲むこと。） ※　広報用チラシとプレス用資料。２枚の配付を希望します。
報道（取材）に当たってのお願い	
備　　考	

旭川にサケが
戻っている！

シロザケ生態展示会のお知らせ

【会　期】：平成30年９月27日(木)～11月11日(日)　9:00～17:00
【場　所】：旭川市科学館（宮前１-３）　特別展示室前
【その他】：観覧は無料です。

石狩川では，平成12年に中流の深川市にある旧花園頭首工に魚道が設置されたことにより，旭川市を含む上流域にサケの遡上が確認されるようになりました。さらに，独立行政法人独立行政法人水産総合研究センターさけますセンターにより，3年間（平成21年～24年）で計150万尾に及ぶ大規模な稚魚放流が実施されました。その結果，平成23年以降に放流個体が回帰し，平成24年には3,000尾以上のサケが遡上，産卵したと推定されています。

旭川市科学館では，サケの遡上に対する市民の関心の高まりを受け，環境教育を目的とした「サケに関するシンポジウム」や「サケの遡上見学ツアー」，「パネル展示」などを開催してきました。その中で，石狩川上流のサケの回復状況について，その実態把握を目的として，現在の本格的な遡上回復前より一連の調査に関わってきました。

平成30年度におきましても，従来の調査を継続し，サケの遡上状況，稚魚の生育状況及び野生魚の回復状況を把握するための調査を実施しているところです。

今回の展示では，これまでの調査研究の成果と市民の方々に旭川へ遡上してくるサケについてもっと知っていただきたく，サケの生態展示会を開催しております。解説パネルの他，サケを知ってもらう様々なキット類，一昨年，市内の河川で撮影したサケの産卵行動に関する貴重な映像，サケの仲間の生態展示（ヤマメ，ニジマス，オショロコマを飼育しています）をしております。是非，ご覧頂いて，少しでもサケの生態を知っていただければ幸いです。

＜問合せ先＞
旭川市教育委員会　社会教育部　科学館　学芸員　向井正幸
〒078-8391　旭川市宮前１条３丁目３番32号
Phone:0166-31-3186

シロザケ生態展示会

関連事業「サケ遡上見学会」

【実施日】：平成30年**10月27日**（土）**午後１時～午後３時30分**

【内　容】：講師のお話を聴いた後，バスで忠別川まで行き，サケの遡上や産卵行動などを観察します。

【申込み】：平成30年10月21日（日）午前９時～
旭川市科学館（31-3186）まで，お電話してください。

【対　象】：小学生以上（小学３年生以下は保護者同伴）
先着15名

【参加費】： 100円（傷害保険料・資料代）

【講　師】：公益財団法人日本釣振興会北海道地区支部
山田（やまだ） 直佳（なおよし）さん

◆シロザケ生態展示会◆

【会　期】：平成30年９月27日（木）～平成30年11月11日（日）

【場　所】：旭川市科学館　特別展示室前

プレス用資料

◆ローケース内展示

ガラス張りのローケースには，札幌市豊平川さけ科学館から借用してきた「サケトランクキット」を展示しております。トランクの中に入っている様々なものを展示しております。卵から稚魚の標本やサケのオスとメスの違いが分かる縫いぐるみ，日本で初めて作られたサケの缶詰（レプリカ）や大昔，アイヌの人達などが使っていたサケの皮を利用した靴（レプリカ）などを展示しています。サケは単に食べるだけでなく，色々な利用のされ方があることも分かります。

◆解説パネル

学術調査内容を展示しております。旭川市科学館では，2010年から，サケについての調査研究を進めてきております。サクラマスとヤマメについてのお話や，サケが生まれてから川をくだって，海へ行き，そして戻ってくるまでの生活史についての説明の他，そもそも何故，海から155km以上も遠く離れた上川盆地までサケが石狩川を遡上して産卵するのか，その答えとなる一つの仮説が盆地特有の地形と湧水で説明されているなど，私達が普段気付かなかった多くの興味深いことがたくさん書かれております。それらの資料はこちらで配布しており自由にお持ち帰りすることができます。

◆あさひかわサケ歴史マップ

会場で無料配布しております。サケが遡上する河川や産卵場所，大昔から現在までのサケと人との関わりなど，「そうなんだ！」という情報がマップの中に所狭しに掲載されております。パンフの数に限りがございます。

◆映像展示

旭川市内の河川に遡上してきていたサクラマスやシロザケの産卵行動の様子などを水中カメラで撮影した大変貴重な映像です。昨年から今年の春にかけてのサケの様子をご覧いただくことができます。サクラマスやシロザケが産卵床を作ったり，産卵する姿の瞬間などを捉えております。こちらの方は開館時間中，常時，ご観覧することができます。

◆生態展示

現在，サケの仲間であるニジマス，ヤマメ，オショロコマを水槽で飼っております。

今回，公益財団法人日本釣振興会北海道地区支部　山田 直佳(なおよし）さんの協力の元，展示をしております。

是非，今回の展示をご覧頂いて，少しでもサケの生態を知っていただければ幸いです。

シロザケ生態展示会　関連事業「サケ遡上見学会」

【実施日】：平成30年10月27日（土）　午後１時～午後３時30分

【内　容】：講師のお話を聴いた後，マイクロバスでツインハープ橋（忠別川）まで行き，サケの遡上や産卵行動などを観察します。現地では，川沿いをツインハープ橋から下流の緑東大橋の中間まで歩きます。長靴や防寒着の準備をしてください。

【対　象】：小学生以上（小学３年生以下は保護者同伴）　先着15名

【参加費】： 100円（傷害保険料・資料代）

【講　師】：公益財団法人日本釣振興会北海道地区支部　山田 直佳さん

【申込み】：平成30年10月21日（土）午前９時～

旭川市科学館（31-3186）まで，お電話してください。